

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2018年3月1日

万人の福祉のために

真実と慈愛と献身を



卒業証書授与式と卒業生を送る会を開催しました

2月27日(火)第58回卒業式が美浜町長、教育長始め美浜・南知多・武豊の各中学の校長先生や理事長、学長など学園関係者、同窓会長、後援会長などのご出席をいただき挙行されました。一部(卒業証書授与式)は卒業証書授与・校長式辞・来賓祝辞などに続き、卒業生2名が決意の言葉を述べました。第二部(卒業生を送る会)は、思い出の動画や2年生による歌や寸劇、教員合唱と教員代表の言葉、そして卒業生による発表が合唱を交えて感動的に行われました。大勢の保護者の皆様のご出席をいただきましてありがとうございました。



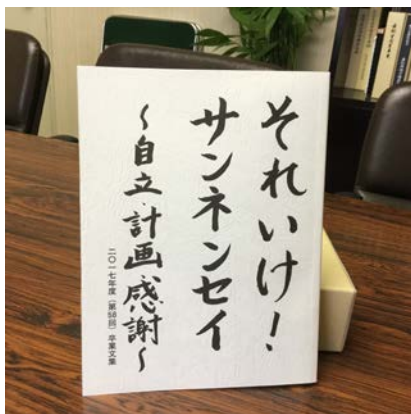
(校長式辞より) 抜粋

・・・3年経った今、皆さんは様々なとりくみを通じて、私たちの想像以上に立派に成長されました。そのことは皆さんが書いてくれた卒業文集の中で確認できました。いくつかを紹介します。

「3年前の私から想像できないほど成長し、沢山のことを学ぶことができた」「この学校に入って多くのことを学び、素敵な友達に出会えることができ、高校生活をこの学校で過ごせてよかった」「部活動では多くのものを手に入れた。一つの目標に向かって努力する大切さを学んだ」「部活動を通じて忍耐力がついた。忍耐力は部活以外の場所でも発揮させることができた。それは勉強です。視野が広がり夢ができた」「中学では数学が苦手だったが、看護学部に入るため必死に勉強した結果、成績が上昇した。今では苦手から得意になった」「オーストラリア語学研修に参加して、コミュニケーション力が伸びた。大学でも留学をしてもっと英語力をつけ、その力を活かせるような仕事がしたい」「一番成長できたことというのは勉強や運動の能力ではなく、ものの考え方、精神的なことが大きいと思います。それは普段の学校生活、授業や部活動の中にあった」など他にも数多く、紹介しきれませんが、皆さんの確かな成長の跡が確認できました。

この間、私たち教職員は「どの子も伸びる」をスローガンして、とりくんできました。皆さんの卒業文集を読んで、少しは達成されたのではと私は大変うれしい気持ちでいます。

皆さんは立派に成長されただけではなく、この学校の新しい歴史を築いてくれました。16年ぶりの和太鼓部の全国大会最優秀賞の獲得、サッカー部の際立った躍進を始めとしてそれぞれの運動部や文化部の3年生が中心となって大きな役割を果たし、部活動のレベルが一段と高まりました。また文化祭や体育祭では、さすが3年生と思わせるクラス演劇やパフォーマンスを披露してよい手本を示してくれました。進学実績も国立大学の結果はこれからですが、公立大学への合格者が増加するなど頑張りが見られました。今後、1、2年生がそれらを引き継ぎ、発展させてくれることでしょう。本校は今年創立六十周年を迎えますが、皆さんが頑張っ取りくんでくれたことがはずみとなり、高揚した中で六十周年を迎えることができそうです。・・・



本校恒例の卒業文集完成

「それいけ! サンネンセイ」
教職員、卒業生全員の言葉や
幼い頃の写真、部活動代表者
の感想、保護者の言葉など見
どころ(読みどころ?)満載
です。卒業後もこれを読んで
高校時代を思い出してくれ
ると嬉しいです。文集委員
さんご苦労様でした。



卒業生代表の言葉

- 「ふくし」を学びたい。この思いを胸に私は日本福祉大学付属高校に入学しました。高校3年間で多くのことを学びました。1年生では「ふくし」の知識を全般的に学び、夏休みを利用し児童養護施設でボランティア活動をしました。2年生からは国際英語コースに進み、海外の「ふくし」にも興味を持つことができました。国際英語コースではオーストラリア語学研修で実用的な英語を身につけることを目標に、コツコツと努力してきました。オーストラリアで過ごした2か月間はとても充実していて、私にとって大切な思い出となりました。また自分の英語が通じた時には語学学習の楽しさを実感しました。そして2か月間日本を離れたことで、家族や友達の大切さに気づくことができました。私は学校行事にも全力で取り組みました。ドミノ企画、修学旅行、ゆりのき祭など行事があるたびにたくさん話し合いをし、悩み、何度もぶつかり、意見がまとまらずとても辛い思いをしたこともありました。上手いかないことが悔しくて涙を流したこともありました。しかし何度失敗や挫折をしても立ち上がり、自分らしく頑張ることができたのは、本気でぶつかることのできる仲間、親身に相談に乗ってくれる先生、そしてどんな時も味方でいてくれる家族の存在があったからです。

どんな状況でも楽しむことを忘れず学校行事を盛り上げようとする3年生全員の力があったからこそ、一つ一つが忘れられない思い出となっていると感じています。この学校の仲間、先生方と出会うことができ、共に3年間を過ごし、成長できたことを誇りに思います。

私たちはこれから自分たちの選んだ新しい道に進んでいきます。3年間で学んだこと、先生方に教えていただいたこと、そして「人との出会い」を大切に、夢に向かって一步一步確実に進んでいきます。(K.Wさん)

- 「僕は勉強が苦手です。なので高校卒業後の選択肢がひとつでも多くなるように部活動と勉強の文武両道を目指し頑張ります」3年前の入学式に私が言った言葉です。その言葉通り私は3年間部活動と勉強の両立を心がけてきました。入学当初、サッカー部に対して多くの思いがありました。特に不安、期待、この2つの思いが強かったのを今でも覚えています。覚悟を持ち入部してきた仲間の存在が、私の不安な気持ちを取り除いてくれました。そんな仲間たちとの出会いが、新しい道に進むという気持ちにさせてくれました。

眠い目をこすりながら毎朝5時に起床、早朝からこれまでかと思うほど走り込み、授業後の練習や食事トレーニングも行い、学校生活で何か起こるとチーム全員でミーティングをしたりと、仲間とともに過ごした一つ一つが私の心の中に残っています。

時にはきついことが多すぎて諦めたくなることもありました。そんな時、一緒に頑張っている仲間の姿が、私にとって心の支えとなりました。きついときこそ周りを見て、声を掛け合っていけば、そのきつさという壁も乗り越えていけることを学びました。

過去にもそうしてきた先輩たちがいたからこそ、私たちが恵まれた環境でサッカーに打ち込むことができた。そして新しい歴史をつくることができた、と実感しています。

日本福祉大学付属高校のサッカー部員だという「自信」と「誇り」が私の進路を切り開いてくれたと思っています。「自信」と「誇り」があったからこそ、授業に一生懸命とりくむことができたし、受験勉強にも臨むことができました。

3年前に決意した「文武両道」。ここにいる同級生の多くも私と同じ思いで3年間を過ごしてきたと思います。部活動と勉強の両立で、得ることのできた数々の経験を糧に、更なる高みに向かって、私たちはこれからも努力し続けます。(R.W君)

* 2人とも素敵な発表でした。夢の実現に向かって頑張ってください。(校長)